

Information

ネパールで「野口健 マナスルに森をつくらうプロジェクト」を開始します

4月25日に発生したネパール地震によりお亡くなりになった方々に心よりご冥福をお祈りしますとともに、そのご家族の方々に心からお見舞い申し上げます。

このたびエコカード基金では、現地の復興支援活動にも尽力しているアルピニスト、野口健さんによる、ネパールでの森づくりのプロジェクトを支援することにいたしました。このプロジェクトは地震の発生前から準備を進めていたもので、標高 3,600m に位置するマナスル峰山麓のサマ村にて、かつて原生林に覆われていた荒地を森林に戻し、土砂崩れなどの二次災害を根本的に解決しようというものです。本プロジェクトが現地の環境保全活動の一助となるよう、より強い意志をもって活動してまいります。

※本プロジェクトは現地の被災状況を勘案しながら進行いたしますので、開始時期や実施内容が変更となる場合があります。



サマ村と同じぐらいの標高に位置するタマー村ではすでに苗木の育成に成功しています

野口健さんからのメッセージ



認定NPO法人
ピーク・エイド 理事長
野口 健

マナスルとはヒマラヤにそびえる 8 千メートル峰の一つで、1956年に日本の登山隊によって世界で初めて登頂を成し遂げた山です。麓のサマ村の村人たちは、今でもマナスルを「ジャパニーズマウンテン」と呼び、日本の登山隊を温かく迎えてくれます。このようにマナスル峰は数あるヒマラヤの山々の中でも、特に日本人の登山家にとって縁の深い山といえます。標高 3,600m に位置するサマ村は、かつて原生林に覆われていました。しかし、木材をチベットに輸出するようになり、原生林は無制限に伐採され、サマ村ではゴンパ（寺院）周辺を除いて立木はほとんど見あたらなくなりました。「木を切る文化」はあってもなかなか「植える文化」をもつ国はない。結果、土砂崩れが起き、人が亡くなることもあります。サマ村でも村人が生活のために木を切り、森林が破壊されたままの状態が放置されています。日本の技術で、ヒマラヤの森、しかもジャパニーズマウンテンの麓の森林を再生したい。3,600m という高所での植林活動は決して簡単ではありませんが、この新たな活動も一歩一歩進めていきたいと思いますので、皆様のご支援をよろしく申し上げます。



野口健さんによるヒマラヤ大震災支援活動はこちら

<http://www.peak-aid.or.jp/fund-himalaya-earthquake/371/>

アンケートにお寄せいただいたご意見にお答えします！

Q1 日本国内、特に東北の被災地支援にもっと力を入れてほしい。

エコカード基金は、2002年に開始して以降「国内外の環境修復と保全」「次世代育成」というコンセプトに基づき活動しておりますが、会員様からのご意見を取り入れ、コンセプトに沿ったプロジェクトが被災地にもあれば前向きに検討してまいります。

Q2 紙での報告書の作成、発送をやめて、削減した経費を他の活動にあててほしい。

会員様の年齢構成上、年に1度の紙での報告書を要望されるお声も根強くございますので、そういったご意見にも配慮して紙での発行を継続しておりますが、双方のお声にお応えできる手法を検討してまいります。また、効率的な経費の使い方を検討し、活動費に充当できるような努力してまいります。

Q3 会員数の減少が気になります。テレビやラジオCMなどはしないのですか？

もっと多くの方にエコカード基金を知ってもらい、会員になっていただけるよう、テレビCMを始め、コスモ石油協賛の清掃活動「クリーン・キャンペーン」とのコラボレーションによるJFNリスナーへの告知、インターネットからの入会手続きの簡素化などに取り組んでいます。また、会員様のご意見を積極的に取り入れ、プロジェクトやエコツアーの企画に反映いたします。

Q4 世界遺産となった富士山を清掃する活動に参加したい。

コスモ アースコンシャス アクト クリーン・キャンペーン in Mt.FUJI にご参加いただけるエコカード会員特別枠をご用意いたしました。今年度の富士山での清掃活動は既に終了してしまいましたが、他の都道府県での開催につきましても参加枠を設けてまいります。詳細はコスモ石油ホームページをご覧ください。

Q5 子どもと一緒に参加できるエコツアーや関西地区から参加しやすいエコツアーを開催してほしい。

家族で気軽に参加できるエコツアー「地球の道」と「さつきやま森の親子学校」をご用意いたしました。「地球の道」は東京都立川市の昭和記念公園で、「さつきやま森の親子学校」は大阪府池田市の五月山公園で開催いたします。年齢を問わず、小さいお子様でもご参加いただけますので、是非ご参加ください。

Q6 国内での活動を優先してほしい。/海外(途上国)での活動を優先してほしい。

会員様から寄せられるご意見には、先進国は途上国へ支援することが務めというお声と、国内で環境活動に取り組み途上国のお手本となるのが務めというお声が両方ございます。エコカード基金では、そのどちらも先進国の務めであると考え、双方のご意見を尊重しプロジェクトを選択してまいります。

エコカード基金活動報告書 2015 アンケートプレゼントの紹介

アンケートにご回答いただいた方々の中から抽選で20名様に、「ムササビとともに暮らす里山再生」のパートナー、NPO法人 都留環境フォーラムが栽培期無農薬・無化学肥料で栽培した米や小麦を使ったみそや麺のセットをプレゼントします。(応募締め切り9月30日。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。11月頃発送予定)



セット内容

- みそ(1kg)/原材料:大豆(山梨県都留市産、遺伝子組み換えでない)、塩(国産)
- 玄米(6合)/原材料:玄米(山梨県都留市産)
- こむぎ麺(2個)/原材料:小麦(山梨県都留市産)、塩(国産)
- きなこちゃん(1個)/原材料:大豆(山梨県都留市産、遺伝子組み換えでない)

下記のアレルギー物質を含む原材料を使用しています。

みそ:大豆/こむぎ麺:小麦/きなこちゃん:大豆

2015年報告書アンケートはホームページから
ご回答いただけます。

<http://www.cosmoil.co.jp/question/>

